



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

議員あさと中村 8月 初登壇

8月10日の市議補欠選挙で2万587票の得票で当選した中村あさと市会議員が、9月8日に開かれた臨時議会で、議員パツシをつけ初登壇し挨拶しました。内容は以下のとおりです。



日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代 です

No. 58
2014・9・21
連絡先
453-7758

尾花市長所信表明

9月8日に臨時議会が開かれ尾花市長の所信表明がありました。山口地域・滝畑に産廃処分場の建設計画があり、関係住民が強く反対していることについて、尾花市長は選挙中の公開討論会や山口地区連合自治会の公開質問状、毎日新聞の記事でも産廃建設に対し「反対」を表明していました。この日の所信表明では一言も触れませんでした。

「補欠選挙において市民の皆様に出遇していただきました中村あさとです。私はこれまで日本共産党市会議員団の事務局の活動などを通じて様々な負担が市民生活にのしかかっていることを実感しました。福祉を充実し、暮らしを支える市政を目指したいと思っております。また、所得の増加は必ず地域経済の活性化に大きな役割を果たすと思っております。市民の皆様の暮らしを支える仕事に力を尽くす決意を述べ、ご挨拶に代えさせていただきます。

新市長は公約守って！

8月30日、JR和歌山駅で山口連合自治会が尾花新市長に対し、新たに作成した安定型産業廃棄物最終処分場建設反対の署名に取り組み、多くの方々に「新市長に公約を守らせましょう」と訴えられました。阪南市からも共産党市会議員をはじめ住民の方が参加され、また「和歌山市の豊かな自然を守り、環境を考える会」からも参加されていました。市議団から10日の市議補欠選挙で当選させていただいた中村あさと議員と私も参加しました。総勢約60人の方がピラヤのぼり、署名用紙（裏面に続く）

山口連合自治会が産廃反対の新署名

尾花市長は選挙期間中、7月25日の公開討論会で建設反対の立場でX印のフリップをあげました。また、同月26日の山口地区連合会の公開質問状で「反対」「産廃処分場は必要な施設ですが、今回の設置場所は山頂部付近で、多くの方が地滑りや水源汚染などの不安を訴えられており、私も同感」と回答。また、8月6日に毎日新聞でも山口地区連合自治会の公開質問状に加え「市は業者に説明責任を果たすよう指導すべきで、その上で地元の見解を尊重する」と書かれています。明確に表明しているにもかかわらず所信表明

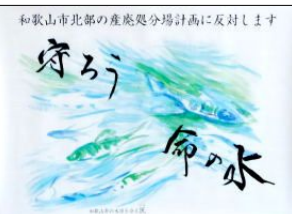
に全く触れないとはどういうことなのかと疑問に思います。当日は山口地域や阪南市からも傍聴に来られていました。残念に思われたらどうでしょうか。今後は共産党市議団として、市長がこれまで表明してきたことを守らせ実現させていくことと、市として許可しないよう関係住民の皆さんと共に、より一層しっかりと取り組んで行く決意をしています。18日から始まる9月議会では、代表質問で姫田議員が、一般質問で渡辺議員と私南畑が産廃問題を取り上げます。ぜひ傍聴にお越し下さい。



産廃問題触れず

産廃ポスター・看板 ・新署名にご協力を

山口地区連合自治会が作製している看板やポスターです。購入・設置等にご協力いただける方を募っています。お問い合わせは南畑までお寄せください。



(表面から続く)をもち、ハンドマイクや宣伝力でも訴えておられました。今までにない意気込みを感じましたし、それに比例して多くの方がピラを受け取り署名をしておられました。「こんな気持ちのよいピラまきは初めて！」です。尾花新市長は7月25日の市長候補者の公開討論会ではっきりと産廃に反対を表明されています。8月25日の新市長就任式直後の休日宣伝は正にタイムリーだと思えます。

9月8日の臨時議会では、所信表明が行われましたが産廃問題には残念ながら一言も触れませんでした。この署名行動でも市民の方から「所信表明がライブ中継されるのか？」と質問があり、産廃建設への関心が大きく広がっているのを感じます。9月18日から始まる9月議会(今回は特別に代表質問が行われます)に、共産党市議団として、気持ちを新たに産廃問題に取り組みたいと思えます。

再度地域バスに乗りました

先日地域バスの要望のある高台の方々と紀三井寺で13年4月から運行している地域バスに乗ってきました。運賃は100円〜200円、所要時間は約30分。バス停は13力所ですが、「団地内の一定区間ではどこでも降りられる」との運転手さんの説明に、地域バスならではの二重目の体験ながら感動しました。地域バスは地域からの要望により、地域公共交通会議で実施に向けた議論を進めますが、前提になるのは費用負担です。費用の8割が市負担、1割が運賃収入、1割が募金や協賛金となっております。紀三井寺の場合、年間を通じて「1便2・4人」乗れば、地域負担をクリアすることになります。要望がありながら実現に

至っていないのは、費用負担の前提がクリアできない、高齢化のために協議会の世話役という重責を担うこと困難な現状があるのではないかと思います。今年度、市は国の補助金を活用して、加太地区と小倉地区にアンケート調査を実施し、取りまとめの最中と聞いています。和歌山バスの路線再編計画検討、地域バスの地元の要望の大きさや取組状況等により対象地域が決められたとのことです。高齢化が進む中、高台やバス路線から離れた地

域の方から交通網の整備や外出支援策の要望が強くなっており、要求実現に向け、さらに取組みに力を注いでいきたいと思えます。



無料生活法律相談

日時：10月 1日(水)
10月15日(水)
午後6時~7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時~12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)